

**平成29年度スーパーグローバル大学創成支援事業
「京都大学ジャパングートウェイ構想」における外部評価を受けて**

教育担当理事・副学長 北野 正雄

本学の「ジャパングートウェイ構想」が、文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択され、平成26年度から本構想を開始した。開始から3年が経過した平成29年6月5日に全学委員会のスーパーグローバルコース実施運営協議会において、本構想の自己点検評価を行うとともに、本構想の第三者による客観的な評価を行うことを目的として外部評価委員会を設置し、6月6日及び7月12日の計2回外部評価委員会を実施した。

本学が行った自己点検評価について、外部評価委員会の評価では、総じて妥当であるとの評価をいただいた。

全体を通して、外部評価委員からは、本構想の個々の取組みに対する進捗状況は、十分に把握できたが、今後、本構想を推進するうえで、京都大学としての国際教育研究交流の理想的な方向性・目標を明示し、その目標に向かってどのように取り組んでいくのかを明確にすべきとのご指摘をいただいた。

本指摘事項を踏まえ、今後本学の国際化の理念を実現していくために、9ページの“「京都大学ジャパングートウェイ構想」における今後の方向性”にまとめたとおり、個々の取組みの進捗状況等も分析しながら、大学全体の国際通用性を高めていけるよう、本構想をさらに推進していきたいと考えている。

最後に、外部評価委員からいただいた個別の貴重な意見については、今後本構想を推進していくうえでの取り組むべき課題として着実に実行していきたい。

本評価にご尽力いただいた委員各位には改めて深く感謝申し上げます。